



鳥取県民間介護事業者協議会

会長 谷口 功

新年、明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

平成30年初春を迎え、4月から介護保険、第7期介護報酬改定となります。

今現在、日本国の財政はとても厳しい状況ですが介護事業者の経営悪化の調査分析から6年ぶりに0.54%のプラス改定になります。一方、8月からは年取340万円を超す高齢者は介護保険利用料金2割負担から3割負担となり財源確保に必死な状態です。

今年最も力を入れなければならぬ事が、介護人材確保及び育成です。昨

年もいくつかの事業所が人材不足により事業閉鎖しました。高齢者が増え介護サービスを必要とする人が増えていますが、受け入れ事業所が無い状況にこのままだと陥ります。

少子高齢化の時代にどの産業も人手不足が喫緊の課題となっていますが介護業界の人手不足は危機的状況です。昨年11月から外国人技能実習生も介護分野が解禁となりましたが、現状として体力のある大企業の施策に感じます。とは言え一歩前進に間違いありません。

今年もしっかり前を向き、鳥取県の介護を微力ながらも民介協で支えていきたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

鳥取県民間介護事業者協議会

鳥取市古海707-1 TEL0857-30-1696